

平成26年度 動物実験等に関する報告

瀬戸内海区水産研究所

項目	報告内容
1 動物実験等の実施状況	
(1)実施件数	1件
(2)使用動物種	BALB/cマウス
(3)関係研究課題	農林水産技術会議食料生産地域再生のための先端技術展開事業・「貝類養殖業の安定化、省コスト化・効率化のための実証研究」及び科研費(基盤研究(B)一般)「湖沼および海洋におけるツボカビの多様性と機能評価: 検出方法の開発と物質流の定量化」
(4)実験課題	モノクローナル抗体の作成
2 点検・評価結果	
(1)所内規程の制定	瀬戸内海区水産研究所動物実験委員会規則 平成18年6月1日付け 18水研瀬 第13号 改正 平成24年6月1日付け 24水研瀬 第060103号
(2)動物実験委員会の設置状況・構成	業務推進部長、業務推進課長、生産環境部委員、環境保全研究センター委員、増養殖部委員により構成、設置
(3)動物実験等の実施状況	マウスの腹腔内に第1回目はフロイントの完全アジュバントと抗原溶液の混合液0.1mlを接種、2週間後にフロイントの不完全アジュバントと抗原溶液の混合液0.1mlを接種。2回目の抗原接種から2週間後に尾部静脈に抗原液0.05mlを接種。
(4)教育訓練の実施	平成26年10月10日本部にて実施の平成26年度動物実験勉強会に業務推進課長が出席。
(5)実験動物の飼養等	適切な給餌、給水を行い飼養管理している。
(6)総合評価	国立研究開発法人水産総合研究センター動物実験規程に照らし妥当と評価する。